

アジア・太平洋地域における「環境モデル都市」・「環境モデル島」の構築調査

(1) 事業の概要

アジア・太平洋地域における環境モデル都市・モデル島の構築に向けて、現地調査等を行い、事業計画案を作成する。また、コベネフィット・フォーラムの開催や技術カタログ等のツール作りにより、技術的な支援の基盤を形成する。

(2) 事業計画

) 「環境モデル都市」・「環境モデル島」の構築に向けた事業計画の検討

- ・ 低炭素、低公害、物質循環、水循環、自然共生など、モデル都市・島で実現されるべき個別テーマについて、現地における既存の取組み、国内各省における施策、内外の技術情報等を収集・整理する。
- ・ アジア・太平洋の各都市・島嶼が抱える環境問題について文献調査等を行い、上記 ~ のテーマの取組みのいずれか、又は複数の組み合わせの適用が可能か、またそれにより環境問題の解決が可能か検討を行い、現地調査の候補を選定する。太平洋島嶼国については、海面上昇等の気候変動の影響への適応策や、小島嶼での廃棄物対策等、島嶼国で特に深刻な環境問題に重点を置いて検討を進める。
- ・ 国内検討会による検討及びアジア諸国・太平洋島嶼国との調整により現地調査の対象都市・島嶼(2ケース)を決定し、現地調査を行う。現地調査の結果に基づき、各候補地での環境モデル都市・モデル島の実現可能性を検討し、事業計画案を作成する。事業計画の検討においては、他省庁、関係機関等と連携し、オールジャパンでの支援が可能になるようなものとする。また、施設整備などハード面だけでなく、社会システムの整備などソフト面の整備も検討する。

) 分野別フォーラムの設置・開催

- ・ アジア・コベネフィット・フォーラム(新規事業)、アジア水環境パートナーシップ(予算措置済)、アジア3R推進フォーラム(予算措置済)等、アジア諸国・太平洋島嶼国及び国内の産官学連携によるフォーラムを分野別に設置・開催し、環境モデル都市・島の実現及び各国への波及に向けた基盤を構築し、現地ニーズの把握・案件発掘・技術支援等のプラットフォームとする。
- ・ コベネフィット・アプローチの分野については、アジア・コベネフィット・フォーラムにおいて具体的な事業形成に向けた案件発掘を行うとともに、コベネフィットCDMを実施する場合に活用できる技術知見を整理した技術カタログ(個別技術の内容、リスト)・技術マップの作成(各技術の全体像における役割、位置付け)等、具体的なツールづくりを行う。

(3) 事業実施主体 環境省(民間団体等に委託予定)

(4) 予算額 103百万円

アジア版環境モデル都市の実現

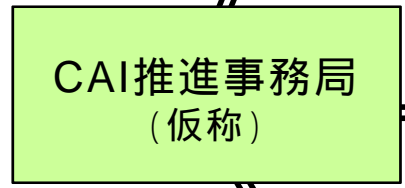
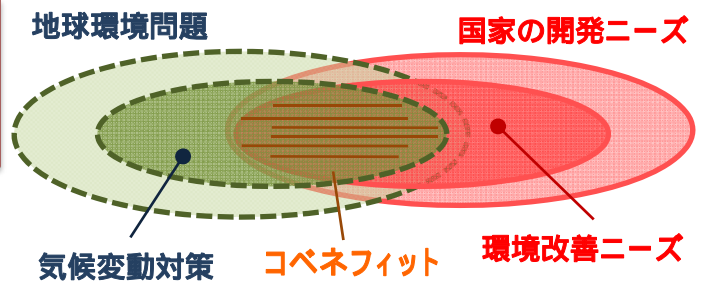
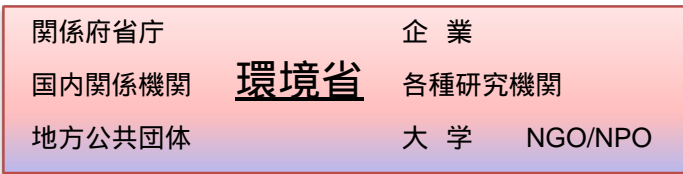
- アジアに、環境と共生しつつ経済発展を図り、持続可能な社会を構築 – **環境モデル都市**
- クリーンアジア・イニシアティブの展開 – **コベネフィット・アプローチ**、**水の安全保障**など)



醤油のような色の黄河



日本がフロン破壊施設の設置を支援したセメント工場全景(インドネシア)



政策対話
の
推進

「環境モデル都市」の実現

- 低炭素社会の実現
- 水環境保全など低公害型社会の実現
- 循環型社会の実現
- 自然と共生する社会の実現

